

このたび、看護系学会等社会保険連合（看保連）が設立 20 周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

2005 年の設立以来、看保連は看護に関わる診療報酬や社会保険制度の適正な運用と発展に向けて、専門職の立場から重要な役割を果たしてこられました。現場の声を的確に反映し、患者にとって最適な医療提供体制の確立を目指して尽力されてきたことに、深く敬意を表します。

内科系学会社会保険連合（内保連）としても、これまで幾度となく議論や協議を重ね、医療制度の発展に向けた協働を進めてまいりました。加えて、外科系学会社会保険委員会連合（外保連）とともに、三団体が緊密に連携し、より良い医療制度の構築に向けた取り組みを一層強化していくことが重要であると考えております。

特に、三保連合同シンポジウムでは、診療報酬改定や医療提供体制の在り方について活発な意見交換が行われ、医療現場の課題解決に向けた具体的な提言がなされ、マスメディアへの情報発信もできました。今後もこのような機会を通じて、看護・内科・外科が一体となり、持続可能な医療制度の発展に寄与できるよう、共に歩みを進めてまいりたいと存じます。また、ますます必要となってくる介護分野については、看保連にリーダーシップを発揮していただきたいと思っております。

20 周年という大きな節目を迎えられたことを機に、さらなる発展と飛躍を遂げられることを心よりお祈り申し上げます。

一般社団法人内科系学会社会保険連合  
理事長 小林 弘祐